

[特集] Smile Café開店。

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第137号

発行2019.4.21

年4回発行



社会福祉法人そよかぜ

羽村市栄町3-3-1

☎042-578-0855

fax.042-578-0466

そよかぜだより



福祉作業所スマイル工房【地域交流スペース】

開店

Smile Café

福祉作業所スマイル工房は、平成30年10月から羽村市玉川地域へ移転し、事業を開始してから半年が経ちました。

この度、かねてから準備をすすめておりました【地域交流スペース】Smile Caféを無事にオープンすることができました。これも一重に皆さまのご支援ご指導の賜であり、心より御礼申し上げます。

Smile Caféは、地域の方々との交流を大切にしたい「憩いの場」として誕生しました。この憩いの場は、利用

者と地域の皆さまとが出会い、交流を通してお互いに理解が深められる場でありたいという願いがあります。

当法人の経営方針のなかで謳われている**全ての利用者と職員がいきいきとやりがいをもって働ける職場環境づくりに努めます**という考え方をベースにSmile Caféの運営を行っています。

利用者一人ひとりが地域のなかで生活を送り働く経験を通して、自分自身の人間性が養われ、自己表現ができる大切なスペースでもあります。

【特集】福祉作業所スマイル工房【地域交流スペース】

Smile Café

開店



自家製クッキーについて

自家製クッキーは店舗が新規開店する前から、近隣のお客様からもご愛顧いただき、有り難いことにリピーターとして何度も足を運んでくださるお客様もいらっしゃいます。

天然酵母パンについて

パンは、じっくりと時間をかけて天然酵母を発酵させて作っております。利用者の方々と職員が一緒に、前日の仕込みから当日の成形まで丁寧に心を込めて作っております。パンは火曜日と金曜日に限定して販売いたします。すべて手作りで時間がかかるため、午前11時頃から徐々に色々なパンが焼き上がり、全てのパンがお店に並ぶのはお昼の12時頃になります。また、新商品の開発にも力を入れており、今後ご期待を頂ければと存じます。

①② 時間ごとに様々なパンが焼き上がります。焼きたてパンのいい香りが店内を包みます。③ 店内の一部の壁が黒板になっており、当日焼きあがるパンやメニューが記載されています。④ 開店初日の店内。多くのお客様でにぎわいました。⑤ 旧施設から移転し、広く使いやすい厨房になりました。クッキーやパン、焼き菓子など一つひとつ丁寧に作っています。





コーヒーについて

コーヒーは豆の鮮度を優先し、店舗で挽いています。ハンドドリップでゆっくり丁寧にお淹れしますので、少々お待ちいただくこともあります。パンや焼き菓子との相性も良いので是非ともご賞味いただければ嬉しいです。

利用者の方々はフロア業務、キッチン業務の研修を重ねてきましたが、まだまだ不慣れなこともあるかと思います。そのような中、職員がサポートしながら少しずつでも自信に繋がればと考えております。慣れるまで時間がかかるかと思いますが、見守っていただければ幸いです。

地域の方々との交流を通して、笑顔になれるお店づくりに取り組んで参りますので、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

⑥⑦美味しいコーヒーを淹れられるように、何度も練習を重ねています。⑧エプロンと帽子がユニフォームです。緊張することもあります。普段でないような貴重な経験でもあります。⑨これから暑くなる季節のため、アイスコーヒーもご用意しています。

クッキー 100円～

サクサクのクッキーを種類豊富にご用意しています

天然酵母パン 100円～

ホシノ天然酵母を使用したパンを販売しています
天然酵母パンの販売は火・金曜日になります

ドリップコーヒー 300円

香り高いコーヒーをハンドドリップで淹れています

ジュース 200円

アップルとオレンジをご用意しています

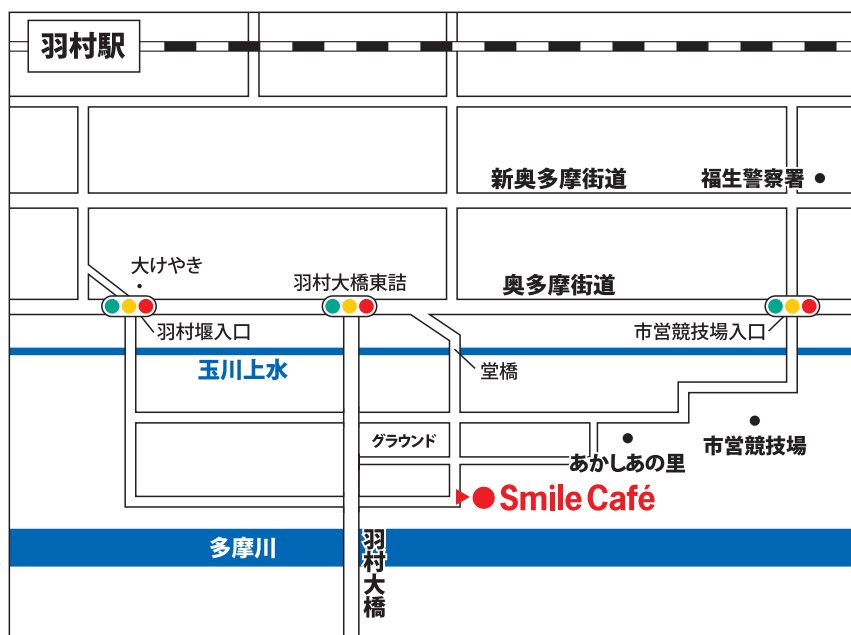
福祉作業所スマイル工房
【地域交流スペース】

Smile Café

営業時間

火・木・金 曜日
10:30～14:30

東京都羽村市玉川2-10-1
☎042-578-2723



福祉作業所スマイル工房 移転開所から半年経って

早いもので、福祉作業所スマイル工房が10月から羽村市玉川二丁目で事業を開始して半年が経過しました。まずは、新しい環境に慣れることが課題でした。通所ルートが大きく変化した利用者が多く、最初のうちはスムーズに施設にたどり着くことが難しく不安を抱えた利用者もいましたが、自主練習されたり職員の支援を受けながら、今では皆、問題なく通えるようになりました。次に、新しい建物は、旧施設に比べて広く細長の造りでもあるため、最初のうちは少し戸惑われる方もいましたが、この点もそれほど時間がかからず慣れてきたように思えます。川沿いの静かな環境や多摩川を臨む2階からの眺め、部屋やトイレの使い勝手が飛躍的に良くなったことなど、利用者の方々の満足度はとても高いと感じています。

この半年間、室内軽作業とパン・クッキー製造に分かれて作業を行う点では、旧施設と比べて作業内容が大きく変わる事はありませんでした。しかし、利用者にとって、広く新しい場所での作業は新鮮味があり、何より窮屈さを感じなくなったように見受けられ、心理的に楽になったのではないかと思います。

また、移転して2か月が経過して少し落ち着きを取り戻した12月頃から、鉢植えの花やクッキーの販売を始めました。当初は4月オープンする地域交流スペースカフェ店頭に並べる予定でしたが、試しに「鉢植えの販売・クッキーの販売始めました」の掲示をして販売してみたところ、近隣の方々をはじめ遠方より散歩途中の方々も立ち寄られ、その際のやりとりを通じて、この地での新たな出会いと交流が生まれま

した。

4月1日から地域交流スペースのカフェがオープンしました。地域の皆様方のご理解とご協力を賜りながら、今後は、さらに多くの方々と新たな出会いや交流の機会が増える事を楽しみにしております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



当事業所は、主に心の病を抱えている方々がその能力や適性に応じて作業訓練等を重ねながら地域で自立した生活を送れるよう支援する就労支援施設です。作業内容は大きく分けて室内軽作業と自主製品であるパン・クッキーの製造販売を行ってききましたが、4月からはカフェをオープンさせて、新たに接客・販売作業の訓練も行います。

平成4年に家族会が「あやめ作業所」を立ち上げ、平成11年に羽村市羽中3丁目に移転すると同時に「スマイル工房」に名称が変わりました。平成22年、社会福祉法人そよかぜが運営を担う事になり現在に至ります。

社会福祉法人そよかぜ 平成31年度事業計画概要

当法人は、平成21年3月5日、NPO法人から社会福祉法人として認可を受け、平成31年3月5日で創設から10年が経過しました。この間、福祉作業所ひばり園新施設建設並びに無認可小規模作業所から認可事業への移行、直近では、福祉作業所スマイル工房の新築移転など、法人事業の整備拡充に努めてまいりました。就労移行支援や定着支援、就労継続支援B型事業や就労

及び計画相談支援事業など障害者の地域福祉に向けた各種事業への取り組みを行い、一定の成果をあげることができました。これまでの実績を踏まえながら、より多くの利用者並びに関係者の皆様の力になれるよう、さらなる事業の充実、発展に向けた施策の展開を図らなければならないと考えております。

公益性の高い障害福祉事業の向上を目指した法人運

営として、運営組織体制の改善、透明性の確保、財政規律の強化を念頭においた法人運営に努めることが必要不可欠であります。これらを踏まえ、本年度は次の点に重点をおいて取り組んでまいります。

事業運営の基本方針

① 運営組織の充実

多様化、複雑化する障害福祉ニーズに対応した事業運営の充実に向けて、運営組織全体としての意識改革を積極的に進めます。

② 財政の安定した経営を目指す 取り組みの強化

法人運営の基本となる財政運営の健全化は極めて重要であり、各事業の経営改善を最重点課題と位置づけ積極的に進めます。

③ 利用者工賃の向上と相談支援体制の充実

利用者の就労意欲の向上と安定した地域生活を支援するために、作業所における工賃引き上げに向けた創意工夫と相談支援の充実を積極的に進めます。

社会福祉事業

福祉作業所ひばり園（就労移行支援＝定員6名）

一般就労を希望する65才以下の障害のある方に、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練等を提供します。

福祉作業所ひばり園（就労継続支援B型＝定員70名）

一般企業への就職が現時点で不安あるいは困難な方を対象に、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行い、地域での自立した生活や一般就労に向けた支援を適切かつ効果的に行います。また、多様化する利用者ニーズに対応した支援に努めます。

就労定着支援（新規事業）

就労移行支援を利用し、一般就労に移行した障害者が持っている力を最大限に発揮し、安心して長く勤めることができるよう、障害者就労に伴う様々な課題に対応した支援を行います。

福祉作業所スマイル工房（就労継続支援B型＝定員40名）

一般企業への就職が現時点で不安あるいは困難な方を対象に、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行い、地域での自立した生活や一般就労に向けた支援を適切かつ効果的に行います。新施設での活動が本格化する初年度であることから、試行錯誤を重ねながらも一歩ずつ着実に事業を推進します。

指定特定相談支援事業所ゆい

障害者の自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切な福祉サービスの利用に向けて、きめ細かな相談支援の提供に努めます。

公益事業

羽村市障害者就労支援センター エール

就労を希望する障害者の就労機会の拡大をはかるとともに、障害者が安心して働き続けられるように就労面と生活面を一体的に支援します。本年度も、羽村市役所庁内において市内障害者の職場体験実習を実施する予定です。

収益事業

資源回収

羽村市が掲げる資源リサイクル推進の方針に沿って、ボランティアや作業所利用者と協働して古紙を中心とする資源回収事業を行います。

平成31年度 社会福祉法人そよかぜ当初予算額

法人総支出額

¥247,171,000

※内部取引調整後の値

社会福祉事業 ◆ ♠ ♥ ♣ ☆ ✦
総支出額 ¥218,677,000

公益事業 ◎

羽村市障害者就労支援センター エール
総支出額 ¥24,003,000



◆ 法人本部
¥1,291,000

♠ 福祉作業所ひばり園
(就労移行支援)
¥18,799,000

♥ 福祉作業所ひばり園
(就労継続支援B型)
¥141,799,000

♣ 福祉作業所ひばり園
(就労定着支援)
¥814,000

☆ 指定特定相談支援事業所ゆい
総支出額 ¥4,491,000

✦ 福祉作業所スマイル工房
¥46,265,000

指定特定相談支援事業所ゆい
¥9,709,000

意思決定を考える

最高裁は、初めて成年後見制度の選任に関しての考えを示しました。内容としては、後見人にふさわしい親族など身近な支援者がいる場合は、ご本人の利益保護の観点から親族らを後見人に選任することが望ましいというものです。

加齢に伴う判断能力の衰えは個人差があるものの少なからず訪れるものです。成年後見制度は、自ら判断することが困

難な方の拠りどころになる重要な制度でもあり、基本的人権を守るということでは利用者支援にも通じるものであります。

人は、自身で意思決定をしながら自らの人生を自律的に生きる権利を持っており、基本的人権として守られなければならないません。

認知症や知的障害、精神障害等のように判断能力が十分でないからといっ

コラム「福祉の時をつかむ」

て、ご本人のためだからと勝手に決めてしまうことはいかなるもののでしょうか。これは後見人に限らず支援をする側も基本的な姿勢として守っていかなければなりません。

人にはみな意思があり、支援さえあれば意思決定ができるという考えを大切に、意思決定支援のさらなる研究や取り組みが期待されます。

そよかぜホームページ <https://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

いよいよ令和の時代が始まります。ひばり園にも就労移行支援に利用者の方が1名、就労継続支援B型に2名の支援員が新たに仲間入りし、新年度がスタートしました。先日行われたお花見では、参加者みんなに名前と好きな物を一言ずつ話してもらいました。意外な一面を知ったり、笑いがあつたりと、満開の桜の下、美味しいお団子を食べ、和やかな時間を過ごしてきました。

リサイクルショップくれよん

日頃よりリサイクルショップくれよんをご

愛顧いただき、ありがとうございます。看板が新しくなり、とても見やすくなりました。昨年度は男性利用者さんが増えて、引き取り・配達に大活躍中です。4/22(月)～26(金) 全品半額セールを行ないます。皆さまのご来店をお待ちしております。

●GW休業＝4/27(土)～5/5(日)



福祉作業所スマイル工房

スポーツレクリエーションとして初めてヨガをしました。心と身体がリラックスできる腹式呼吸を取り入れた、座りながらできるヨガを教えてもらいました。先生は近所の高齢者施設でも教えている方で、教える方がとてもわかりやすく、利用者の皆さんは真剣に話を聴きながらヨガを楽しめたよ



うです。短い時間でしたがリラックスした気分を味わいとても貴重な時間を過ごせました。

障害者就労支援センター エール

エールは、社会福祉法人そよかぜが羽村市の区市町村障害者就労支援事業の委託を受け、平成20年9月に開設した就労支援センターです。羽村市在住の障害のある方で、一般企業等への就職を希望されている方やすでに働いている方を対象に、就労に関するご相談や支援を行なっています。

利用時間：月曜～金曜日、午前9時～午後5時。各月の第一土曜日は開所。

※ご相談は予約をお願い致します。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

桜が咲いたかと思えば雪が降っています。気象予報士でもなければ理解できないような天気です。スマイル工房でヨガをしたとの記事がありますが、私が生活にヨガを取り入れて4年ほど経ちました。呼吸を整え、呼吸に合わせて身体を動かすことにより、無理なく気持ちよく動くことができます。呼吸と動きに意識を集中させると、心がとても静かになります。天気はコントロールできませんが、呼吸を整えて心の天気はコントロールしたいと思う今日この頃です。

各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局

☎042-578-0855

福祉作業所ひばり園

☎042-555-5512

福祉作業所スマイル工房

☎042-578-2723

リサイクルショップくれよん

☎042-578-2575

羽村市障害者就労支援センター エール

☎042-570-1233

指定特定相談支援事業所ゆい

☎042-555-5512